

下関西高校へ入学した君たちへ。秋もかなり深まってきましたが、落ち着いた学校生活を送ることができているでしょうか？3年生は毎週のように模擬試験が実施されていて、中には疲れている生徒もいますが、徐々にきりっとした受験生の顔になってきている生徒が増えているように感じられます。それぞれの生徒が自分としっかり向き合い、悔いのない受験をして欲しいと思っています。

さて、1年生は文理選択の最終段階に入ってきていますが、君たちが関係する**2025年度大学入学共通テストから試験内容や実施時間など形式について一部、変更が予定されています**。担当の大学入試センターからは既に出題教科、科目についての原案が9月4日に更新されており、いよいよ**11月には問題サンプルが発表されます**。国立大学の個別入試についても2年前予告ルールがありますので変更点などが公表され始め、次の大学入試の輪郭が徐々に明らかになってきています。既に担任の先生方からも情報提供やアドバイスがあったとは思いますが、今回は君たちが受験する2025年度共通テストについて一緒に確認したいと思います。

まず、**2025年度大学入学共通テストについて**ですが、**実施期間は2日間**と既に決まっています。**具体的な実施期日については、令和5年6月初旬までに通知される予定です**。実施される科目については、現在「国語」「地理歴史」「公民」「数学」「理科」「外国語」の**6教科のうち30科目**ですが、2025年度からは質の高い試験問題を継続的・安定的に出題できるよう、現在30科目にまで増えている出題科目の数や組合せ等について、問題作成及び試験実施における実現可能性や、問題作成委員の派遣や試験の実施など大学入学共通テストに係る大学・高等学校関係者の負担に十分に配慮するとともに、受験者数の減少に対応して問題作成経費等の業務経費を削減することも念頭に、必要なスリム化を行うという方針から、国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語の6教科に加え、新たに**教科「情報」**が追加されるものの、科目数は減少し、**7教科のうち21科目**の実施となります。次に、**試験時間**についてですがいくつか変更されます。1点目は**国語**についてです。現在は80分で実施されていますが、**現在の学習内容を維持した上で多様な文章を提示するという観点から90分と10分延長されます**。2点目は**数学②**についてです。**出題範囲が「数学Ⅱ」、「数学B」及び「数学C」となり、選択解答項目数が2から3へ増加するため、こちらも現在の60分から70分と10分延長となります**。3点目は新設の**「情報」**についてです。こちらは、**出題範囲や他教科の試験時間等を考慮し60分で実施すると発表されています**。ところで、「情報」の実施については現在、これを**必須としながらも配点はしない**と予告した**国立大学があり、情報処理学会が10月12日にすべての受験科目に適切な配点を行うよう強く求める見解を表明した**ことが大きな話題となっています。先ほども述べましたが、国立大学の中には「情報」を加えた2025年度共通テストの実施教科・科目の予告を始めてきましたが、**北海道大学は2025年度共通テストでは「情報」の成績は配点しないと発表しています**。また、**徳島大学は、「情報」の扱いについて2026年度入学者選抜までは「総合判定の参考」とし点数化を行わず、2027年度入学者選抜より点数化を行う予定**であることを明らかにしました。北海道大学が配点をしない理由としては「新設の科目で前例がないため、問題の傾向や点数が不安定になると予想している。慎重な対応を行いたいため24年度は配点0にした。25年度以降についての予定は未定」と発表しています。しかし、**情報処理学会は、「入試科目は点数化してその理解到達度を測定するために課すものであり、配点しない科目の受験を強いるのは、入試の実施根拠そのものを喪失することになる。加えて、高校教育の成果を測定することになる入試において配点しないというのは、高校教育におけるその科目の意義を否定することになる」とコメントしています**。つまり、「情報」を含めたすべての受験科目で適切な配点を行うことを強く要求しているということです。今後、国立大学から教科「情報」を含めた個別入試についての詳細を続々と発表してくるので、進路指導部でもしっかりと情報収集に努めたいと思いますが、君たち自身も自分の事ですから、**興味のある大学の入試情報を積極的に調べる習慣を身につけてください。もちろん、西高は「情報」についてはもちろん、入試全般に対する指導体制もきちんと整えているので安心して学習活動に取り組んでください**。

(裏面につづく)

次に、出題科目が大きく変更する「**地理歴史・公民**」についてです。こちらは「**地理総合、歴史総合、公共**」「**地理総合、地理探究**」「**歴史総合、日本史探究**」「**歴史総合、世界史探究**」「**公共、倫理**」「**公共、政治・経済**」の**6科目**が**設置される予定**ですが、組み合わせに一部制約がかかるものの、**最大2科目の選択が可能**になります。なお、「**地理総合、歴史総合、公共**」選択者は出題範囲から2科目を選択解答することになりますが、「**地理総合、歴史総合、公共**」は利用不可とする大学があるので注意が必要です。ちなみに今のところ**北海道大学、東北大学、東京外国語大学、名古屋大学、大阪大学、神戸大学、九州大学**などが利用不可と発表しています。「歴史総合」では日本史と世界史両方の内容が含まれているため、受験科目として日本史を選択した生徒は世界史の学習が、世界史を選択した生徒は日本史の学習が必要となります。このままだと受験生にとって今より負担が増す印象ですが、この発表はあくまで大学入試センターの原案です。今後、文部科学省において、この案をもとに高等学校及び大学関係者との協議を経て最終決定されます。ただ、こちらも現在の授業にしっかり取り組むことで十分に対応できるので大丈夫です。

また、理科についてですが、理科は「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」の4つに分かれている基礎科目が、「物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎」の1科目にまとめられます。ただし実質的には現行と変わりありません。

最後に、今後について公表されているスケジュールですが、**今月中には大学入試センターより地理歴史、公民、数学、情報について出題科目の全体の構成がわかる配点付試作問題の公表を通して、問題作成の方向性が示され、同じ時期に国語、地理総合、歴史総合、公共について大学1年・2年を対象として試作問題によるモニター調査が実施**されます。また、**今年度中には各大学より個別試験の共通テストを含む入試科目の予告**が出されます。さらに、**来年2023年6月頃には文部科学省より試験の実施方針、大学入試センターより経過措置を含めた出題方法と科目選択方法、問題作成方針が出される予定**です。そして、君たちが3年生になった**2024年6月頃**に**大学入試センターより出題方法、時間割が発表される予定**となっています。

(高校生新聞ON LINEより)

大学入学共通テストの出題教科・科目

現在		→	2025年から	
6教科 30科目			7教科 21科目	
教科	科目		教科	科目
国語	国語		国語	国語
	地理 歴史	世界史A		地理 歴史
世界史B		歴史総合、日本史探究		
日本史A		歴史総合、世界史探究		
日本史B		地理総合、歴史総合、公共		
地理A		公共、倫理		
地理B		公共、政治・経済		
公民	現代社会	公民	公共、倫理	
	倫理		公共、政治・経済	
	政治・経済		数学 I、数学A	
	倫理、政治・経済		数学 I	
数学	数学 I	数学	数学 II、数学B、 数学C	
	数学 I・A		理科	物理基礎、化学基礎、 生物基礎、地学基礎
	数学 II			物理
	数学 II・B			化学
	簿記・会計			生物
	情報関係基礎			地学
理科	物理基礎	理科	英語	
	化学基礎		ドイツ語	
	生物基礎		フランス語	
	地学基礎		中国語	
	物理		韓国語	
	化学		外国語	情報 I
	生物			
	地学			
	英語			
	ドイツ語			
フランス語				
外国語	中国語	外国語		
	韓国語			

(文責・進路指導部・松村)